

「第3次明石市農業基本計画」策定の趣旨とスケジュール

1 第3次明石市農業基本計画策定の趣旨

明石市では、瀬戸内海に面した温暖な気候と阪神都市圏に属する都市近郊の立地条件を活かしながら、水稻、野菜、花き、酪農等の多様な農業経営が展開されています。キャベツやブロッコリーと稲作を組み合わせた栽培体系を中心に、市東部では軟弱野菜などが盛んに生産されてきました。魚住町清水付近で栽培されるいちごは「清水いちご」と呼ばれ、逸品となっています。また、農業を支えるため池や水路は、遠い昔から現在に至るまでの長きに渡り、生計を立てるためだけにとどまらず、防災面や環境面などの多面的な機能を発揮し、地域が自然・文化と共生し、本市の魅力を高める重要な要素にもなっています。

本市では、1996年、2012年に「明石市農業基本計画」を策定し、その時代に即した計画に基づく各種施策を推進してきました。現行の計画策定から10年以上が経過し、この間、明石市の農業従事者の高齢化や農家戸数、農作物の作付面積の減少が顕著になってきており、近い将来、遊休農地の増加のほか、農業用ため池や水路の管理体制の脆弱化が懸念されています。さらに、地球温暖化による気候変動、ロシア・ウクライナ紛争を始めとする世界情勢の不安定化による燃料、資材費の高騰などの影響により、農業を取り巻く環境の厳しさは一段と増えています。

このようなことから、農業を取り巻く環境の変化や農業が抱える課題、多様化する消費者の「農」へのニーズなどを踏まえ、SDGsの取組による環境へ配慮した持続可能な農業の振興を推進するため、本計画の改訂を行います。

2 計画期間

2025年度～2034年度の10ヶ年度

3 策定委員会のスケジュール(予定)

	実施時期	主な審議内容等
第1回策定委員会	令和6年7月30日	計画策定の趣旨、現状と課題、前回計画の指標値の検証など
ワークショップ	令和6年9月3日	テーマ:「みんなで明石の農業を考えよう」
第2回策定委員会	令和6年10月 (予定)	・市民アンケート、ワークショップ、農業者アンケートの検証 ・基本政策、施策展案の審議 など
第3回策定委員会	令和6年12月 (予定)	計画素案の審議 など
パブリックコメント(市民意見公募手続き)	令和7年1月頃 (予定)	計画の素案を公表し、意見や情報等を素案に反映
第4回策定委員会	令和7年2月頃 (予定)	パブリックコメントの検証と最終案の取りまとめ